



7/8 (水) 地域の子どものリーダーとして

子ども会育成への活躍が評価され、各種団体より表彰を受けたジュニアリーダー・シニアリーダー達が報告のため市長を訪問しました。ジュニアリーダーは「浦添市少年の船」において班長を務めるなど、児童生徒の育成に貢献しており、シニアリーダーは、高校生より上の世代で構成され、ジュニアリーダーを育成しています。市長は「ジュニアリーダー、シニアリーダーの活動が、県外・国外へと羽ばたく人材の基礎をつくっている。この表彰を飛躍台として更に精進してください」と、激励しました。また、浦添市子ども会育成連絡協議会の会歌の完成報告も行われました。



6/21 (日) 牧港川に清流を取り戻そう

「牧港川に清流を取り戻そう」をスローガンに第2回川まつりが開催されました。メイン会場となったコープ牧港付近では、フリーマーケットやミニライブが行われ、多くの人でにぎわいました。実行委員の運天理事長は「市内外から活動に対する励ましの言葉をいただきました。皆さんの牧港川への関心が高く、このまつりが川の浄化について学ぶきっかけになって欲しい」と、述べました。

また、「水辺の環境学習」や「シーカヤック体験」も行われ、環境学習に参加した子ども達は、浄化の大切さを学ぶとともに「(生き物を)捕まえるところが面白かった!」と、生物とふれあう「川遊び」も楽しんでいました。



6/26 (金) デザインテーマは「三大王のお祭り」

「第32回浦添でだこまつり」のポスターデザイン提供に対する図書カード贈呈式が市長応接室で行われました。デザインは、「若い人の才能を伸ばす」というでだこまつりの主旨のもとに毎年浦添工業高校から提供していただいています。今年、最優秀デザイン賞に上野志穂さん、優秀デザイン賞に嘉陽菜な子さん、砂川璃乃さん、平良美鈴さんが選ばれました。上野さんは「テーマが三大王でお祭りっぽい雰囲気を出したかったので、3人の王様がでだこまつりに参加している様子を描きました。できるだけ楽しい雰囲気を出しました」と、作品への思いを語りました。



6/27 (土) 伝えよう、平和の尊さを

64年前の悲劇を繰り返さないために、地域の戦争体験者7名を語り部とした「悲愴な戦争体験を語る会」が浦添ニュータウン自治公民館で開催されました。

この会は、浦添ニュータウン婦人会によって同地域で初めて開催されたもので、「当時を語る戦争体験者が年々少なくなる中で、次世代にどう伝えるか」をテーマに約40名が参加しました。体験談に加え、市立図書館沖縄学研究室提供の写真パネル展示や地域の方々で作成した戦争体験に基づく大型紙芝居「幸子」の実演も行われました。



7/9 (木) 犯罪や非行のない明るい社会を目指して

「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」をテーマとした「社会を明るくする運動」の一環として「第59回社会を明るくする大会」がてだこホールで開催され、この中で市内小中学生によるドラマプロジェクト「優しい名のもとに」が公演されました。暴走族リーダーの主人公が入院先で知り合った不治の病の少年と出会い、次第に人生観が変わっていくという内容で、初舞台とは思えない子ども達の迫真の演技に会場は感動で満たされ、惜しめない拍手が送られました。

大会では、応募総数1,500点の作文・標語から選ばれた26名の市内小中学生へ表彰状が贈られるとともに、大人も子どもと一緒に犯罪や非行のない社会を築いていくことを確認しました。



7/2 (木) 英語って楽しいよ!

「第3回浦添市英語発表会」がてだこホールで開催されました。この発表会は、児童生徒が英語で表現することの喜びを知ってもらうとともに、表現力の向上を図ることを目的としています。小中学校8校から総勢465名が出演し、歌やダンス、劇やスピーチなどを英語で楽しそうに表現していました。出演者からは「楽しかった。リハーサルまでは緊張したけど、本番では緊張しなかったから良かった」「テストの時期で、時間があまりなかったけれど、中学3年生の良い思い出になるようにみんなで団結して頑張りました」と、達成感いっぱいの声が聞かれました。



6/24 (水) 社会に貢献できる人づくりを

今年5月に屋富祖青年会が約40年ぶりに再結成し、報告のため市長を訪問しました。前身は3年前に結成した屋富祖エイサー隊です。自治会行事に参画し、地域での交流を深めていったのが再結成のきっかけとなりました。青年会は本市の青少年健全育成事業において大きな役割を担っています。新元会長は「現役員は大人が中心だが、今後は子ども達を中心となって活動できるよう支えていきたい」と、述べたのに対し、市長は「大人の皆さんが中高生を育成することは、意義があり高く評価できる。更なる地域の発展を願っています」と、激励しました。